

5) 3大学共通試験について

- 目的：3大学で協働して実施した3年間にわたる教育プログラムを受講した学生の教育目標についての到達度を評価する。
- 実施方法：e-ラーニングを使用

共通試験の取り扱い(案)について(平成27年度) □ 枠内は修正案

1. 問題の作成について

- 1) 作成問題数：合計50題
各WGで原則10問。ただしWG2は2課題あるため20題作成
- 2) 問題作成：共通試験問題作成要項に従う(別紙参照)
- 3) 問題形式：多肢選択式問題と穴埋め式問題(2割以内)
- 4) 問題作成は本部から依頼し、本部にプールする。
各年度末に新作問題を作成し(各WG3問程度)、プールする。

WG1:各年度末に問題を3問程度作り替える。
WG3:→各大学で1題ずつ新作を提出(期限は未定)
WG4:各年度末に問題の修正を検討する。

- 5) 問題のブラッシュアップについて
各問題を各WGごとにブラッシュアップし、さらに各WG代表者が他のWGの問題をブラッシュアップする。

WG1:ブラッシュアップは全問行う。
WG2:各問題を各WGごとにブラッシュアップし、必要に応じて新作問題を作成。さらに各WG代表者が他のWG問題をブラッシュアップする。
WG3:各WG内においてネット上でブラッシュアップし各WGの代表者がまとめ、各WG代表者が他のWG問題をブラッシュアップする。

- 6) 問題の妥当性については評価委員会で審査を受ける。

2. 出題問題について

- 1) プール問題より必要数を選択し、出題する。
- 2) 問題の選択は各大学に任せる。
学習内容、時間が異なるため学習内容に応じた問題の選出は各大学の責任者に任せる。
ただし、今後は教育内容を考慮し、同一問題を用いる。
出題問題は、三大学共通問題とする。

WG3:ただし、プールされれば比率の調整がいずれできる。進級に関係なく、形成的評価であるためにコース学習の達成度の評価の意味合いで実施する。

- 3) 問題は公表しない。

WG1:問題は公表しない(E-learningには同じ問題は入れない)。

3. 共通試験の実施について

- 1) 27年度は試験的に導入する。(昭大・岩大は3月実施予定)28年度より本格実施を開始する。
- 2) 実施法は各大学に委ねる。ただし、今後は同一問題で、同一実施日となるよう検討する。

WG2: 実施法は各大学に委ねる。ただし、同一問題で、同一時期とする。
 WG3: 28年度からは同一問題で、同一実施日となるよう検討する。時間まで合わせるなら土日など学生の都合を考慮する。
 WG4: 今後は同一問題で、近い実施日となるよう検討する。なお問題の漏えいに十分配慮する。

- 3) PCを用いて実施する。(3大学で共通の時間に)

WG4: 可能であればPCを用いて実施する。

- 4) 選択問題数は約30問とする。

WG1: 選択問題数は0問とする。
 WG3: (A問題のみ、穴埋め問題はプルダウン方式とする)

- 5) 試験時間は30分～40分とする。

WG1: 試験時間は50分とする。

共通試験問題作成要項

1. 問題数
 - 各WGで10問(ただし、WG2は2課題なので各10問とする)
2. 出題項目および内容
 - E-Learningで学んだ内容(掲載問題の修正も可)
3. 出題形式
 - (1) 多選択肢式問題(A typeまたはX2 type) ただし、X2 typeは1割程度とする。
誤りを問う問題は可及的出題しないこと。
 - (2) 穴埋め式問題 ただし、1題につき2問までとし、回答が唯一となるようにする。
4. 問題作成上の留意点
 - (1) 難易度の目安: 70～90%
 - (2) 回答の目安時間: 1問約60秒以内
 - (3) 図表および写真の添付も可とする。
5. 問題作成上の留意点
 - (1) 難易度の目安: 70～90%
 - (2) 回答の目安時間: 1問約60秒以内
 - (3) 図表および写真の添付も可とする。

WG2: (追加)問題レベルは、想起型を中心に解釈型を少数入れる。

6. 問題の提出要領

- (1) 作問はテンプレートに則って記載すること。
- (2) 記載項目
 - ① WG番号 ② 問題番号 ③ 問題 ④ 正解 ⑤ 図表
- (3) 提出方法
 - ① 下記メールアドレスにお送りください。
ITを活用した教育センター 乾 さやか sayaka_i@cnt.showa-u.ac.jp
 - ② 提出期限 平成 年 月 日 ()

WG1: ②提出期限(ブラッシュアップ) 平成28年5月31日(火)
 WG2: ②提出期限 平成28年2月 初旬